

高等学校名

北海道栗山高等学校

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施計画書

1 研究の内容等

(1) 研究主題（テーマ）

- ・小中高 1 2 年間を見通したキャリア教育の体系化
～地域の未来を担う人材の育成を目指して～

(2) 研究指定校が抱えるキャリア教育の課題や、地域から求められているニーズ等

＜研究指定校が抱えるキャリア教育の課題＞

- ・（高 校） 3 カ年を見通したキャリア教育の連続性
- ・（中学校） 3 カ年を見通したキャリア教育の連続性
- ・（小学校） 教育活動のキャリア教育の視点からの取組

＜地域から求められているニーズ等＞

- ・地域を愛し、地域を支える人材の育成

(3) 目的と目標

（目的）

＜研究指定校が抱えるキャリア教育の課題への対応＞

- ・（高 校） 各学年におけるキャリア教育の実践において、地域との関わりを見直すとともに小中高の接続性の向上を図る。
- ・（中学校） 各学年におけるキャリア教育の実践の見直しと接続性の向上を図る。
- ・（小学校） 教育活動のキャリア教育の視点からの見直しを図る。

＜地域から求められているニーズ等＞

- ・将来、地域に貢献できる人材の育成

（目標）

- ・地域に関心を持ち、将来、地域を支える人材として活躍できる生徒の育成
- ・地域で働く、職業観・勤労観の醸成

(4) 研究の内容・方法

【地域ダイスキ！プロジェクト】

『くりやま塾』～地域人材を活用した地域理解及び小中高を通じた地域を理解するキャリア体験の充実～

- 1 研究のねらい … 地域の人材を活用した地域の基幹産業、栗山町の将来計画等に関する講演会や座談会を通して、地域への理解を深めるとともに、地域を理解するキャリア体験の充実を図るため、小中高の職場見学・職場見学・インターンシップにおいて連携した指導を行うとともに、小中高合同の報告会又は、地域企業の協力による体験がある報告会を実施する。
- 2 実施時期 … 6月 講演会又は座談会
9月 インターンシップ 11月 報告会
- 3 教育課程上での位置付け … 総合的な学習の時間、関連教科（地歴公民、家庭）
- 4 使用する教材等 … 栗山町史、栗山町第6次総合計画（平成27年度より8年計画）
- 5 協力機関 … 栗山町、栗山高校同窓会およびPTA、地域企業 ほか
- 6 役割分担 … キャリア教育推進委員会
- 7 実施場所 … 本校体育館、視聴覚室等、栗山町総合福祉センター等
- 8 対象者 … 小学生、中学生、本校生徒、保護者、教職員、地域住民
- 9 施設・設備 … スクリーン、プロジェクター、パソコン、放送設備
- 10 経費 … 講師謝礼（交通費等実費を含む）、配布資料代（用紙および印刷経費）

【子どもダイスキ！プロジェクト】

・『小中高12年間を見通したキャリア教育による、高校のキャリア教育の工夫・改善』～家庭科の視点から～

- 1 研究のねらい … 子育てに関する座談会やテーマ学習、保育所、幼稚園、小学校への訪問等を通じて子育てやライフステージについて考える。
- 2 実施時期 … 6月 座談会 9月テーマ学習 10月 保育所・幼稚園等への訪問
- 3 教育課程上の位置付け … 総合的な学習の時間、家庭科目の時間
- 4 使用する教材等 … 本校で作成 家庭科副読本
- 5 協力機関 … 地元自治体（保、幼、小、中、介護施設等含む）、地域企業、大学・専門学校等
- 6 役割分担 … キャリア教育推進委員会
- 7 実施場所 … 地元自治体（保、幼、小、中、介護施設等含む）、協力企業、本校
- 8 対象者 … 本校生徒
- 9 施設・設備 … 地元自治体（保、幼、小、中、介護施設等含む）、地域企業、本校
- 10 経費 … 未定

(5) 研究成果等

(期待できる研究の成果)

- 1 地域に関心を持つ生徒の増加
- 2 地域から期待される学校像の確立

(効果測定)

- 1 生徒の実態を把握するためのアンケート調査を行い、地域に対する理解度の向上および将来、地域を支える意識の向上度を指標とする。
- 2 小中学校の保護者や地元自治体、地域企業等にアンケートを行い、学校に対する期待度の向上を指標とする。

(研究成果の情報提供)

- 1 学校ホームページで取組状況を公表する。
- 2 進路行事や進路達成状況を学校ホームページで公表する。

2 長期計画

(1) 「地域ダイスキ！プロジェクト」の計画

活動期	活動の内容	小中との連携
平成27年度 (1年次)	・地域未来づくり会議 ・栗山町キャリア教育の全体計画・キャリアノートの作成（学校種での指導目標の確認） ・生徒対象に地域に対するアンケートの実施 ・『くりやま塾』～地域の人材～登録依頼 ・地元自治体及び企業の協力による1年生の『仕事しらべ』の実施 ・地元の産業の理解を深める講演会の実施 ・1年生の『職場見学』の実施 ・小中高合同報告会へ向けての検討	・小学校、中学校におけるキャリア教育の実践との接続性の検討
平成28年度 (2年次)	・地域未来づくり会議 ・栗山町版キャリアノートの活用 ・生徒の実態を把握するアンケート及び地元自治体、企業における生徒への期待度を把握するアンケートの実施 ・小中の指導を踏まえた『インターンシップ』の実施 ・地元の協力企業を招き、小中高合同で行う『キャリア教育報告会』の実施 ・『くりやま塾』の人材を活用した職業観・勤労観を醸成する講演会の実施（生徒、PTA、地域住民を対象）	・中学校でのインターンシップの取組との接続性の検討 ・小中高合同でのキャリア教育報告会の計画実施

平成29年度 (3年次)	・地域未来づくり会議 ・栗山町版キャリアノートの活用・改善 ・地元自治体、企業及び大学、専門学校の協力による進路コース別ガイダンスの実施 ・『くりやま塾』の人材を活用した地元自治体の将来計画に関わる講演会あるいは座談会の実施（生徒、PTA、地域住民を対象） ・地元の協力企業を招き、小中高合同で行う『キャリア教育報告会』の実施 ・生徒の実態を把握するアンケート及び地元自治体、企業における生徒への期待度を把握するアンケートの実施 ・研究成果のまとめ ・北海道キャリアサミットでの報告	・小学校、中学校、高等学校12年間のキャリア教育の接続性の検討 ・小中高合同でのキャリア教育報告の計画実施
-----------------	--	--

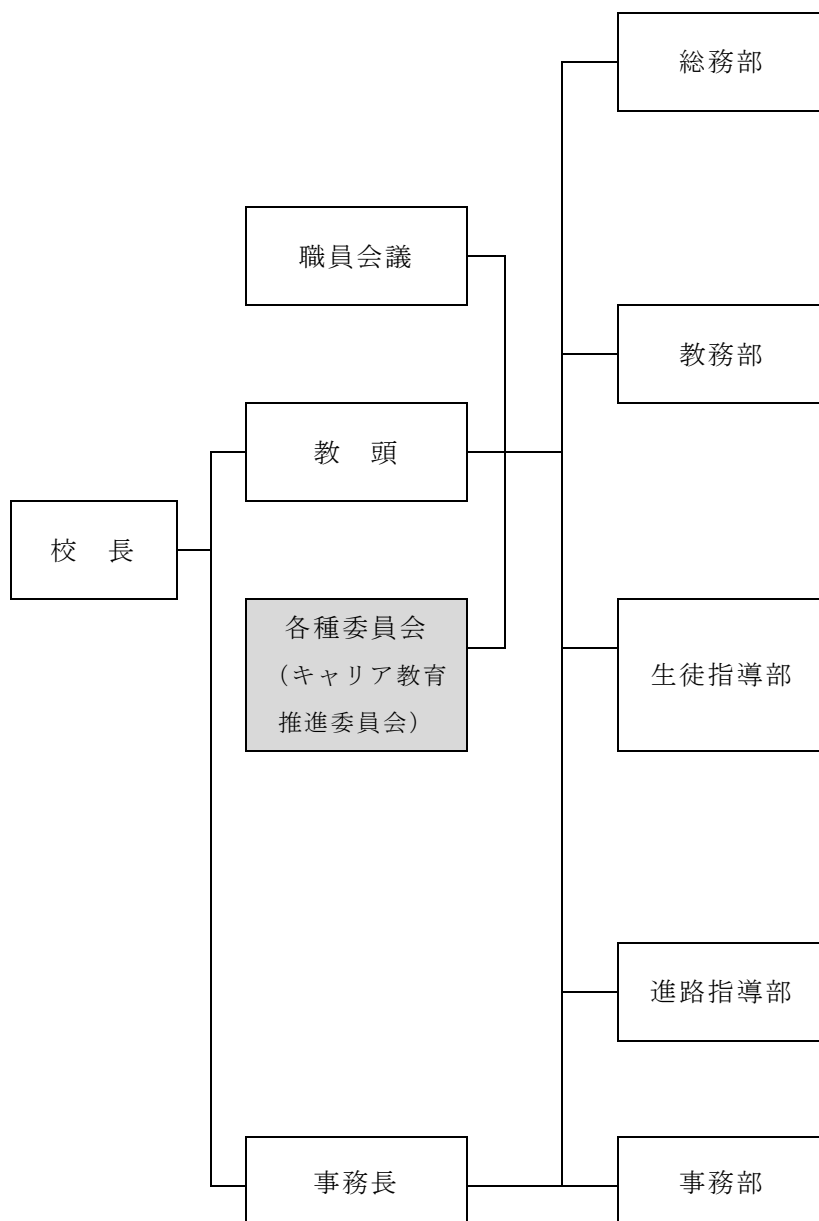
(2) 「子どもダイスキ！プロジェクト」の計画

活動期	活動の内容
平成27年度 (1年次)	● 子育てをテーマにした学習を展開する。 ・ 家庭科における年間指導計画やシラバスへの位置づけ ・ 新聞等のニュースの活用 ・ 子育てに関する座談会の実施
平成28年度 (2年次)	● 地域の子育て支援や若者定住推進の取組を知る。 ・ 栗山町の第6次総合計画の研究 ・ 栗山町若者定住推進室長の講話・座談会 ・ 地域の保育所、幼稚園等での子育て体験 ・ 町主催による子ども対象行事等へのボランティア参加の推進 ・ 出前授業を活用したテーマ学習 ・ 子育てに関する家庭科副読本の活用
平成29年度 (3年次)	● 地域におけるライフステージを考える。 ・ 子どもから高齢に到るまでの健康作りのテーマ学習 ・ 地元の福祉施設や介護施設での体験 ・ 地域を支える人材について高校生と地域住民等が意見交換を行う座談会の実施 ・ 町主催による子ども対象行事等へのボランティア参加の推進 ・ 子育てに関する家庭科副読本の活用

3 研究事業組織体制

(1) 組織図 高校

※各種委員会内に、キャリア教育推進委員会を設置する。



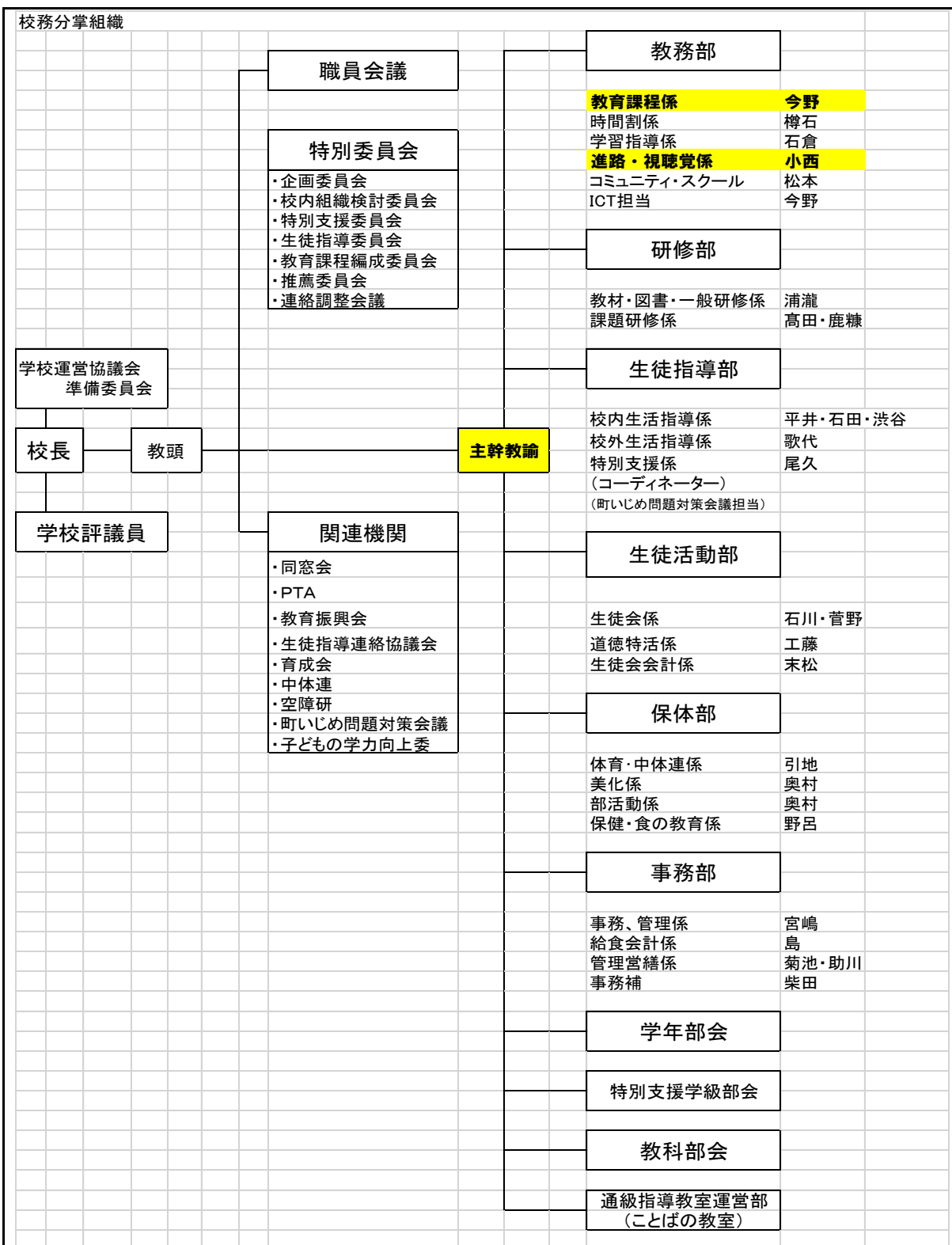
(文章による説明等)

● キャリア教育推進委員会（構成員：10名）

◎ 教頭（統轄・渉外）

- ・ 総務部長（PTA・記録）
- ・ 教務部長（時間割・記録）
- ・ 生徒指導部長（生徒会・記録）
- ・ 進路指導部長（企画・立案）
- ・ 各学年主任（1学年、2学年、3学年）（実践・記録）
- ・ 家庭科主任（子どもダイスキ！プロジェクト）
- ・ 事務長（会計）

(2) 組織図 中学校



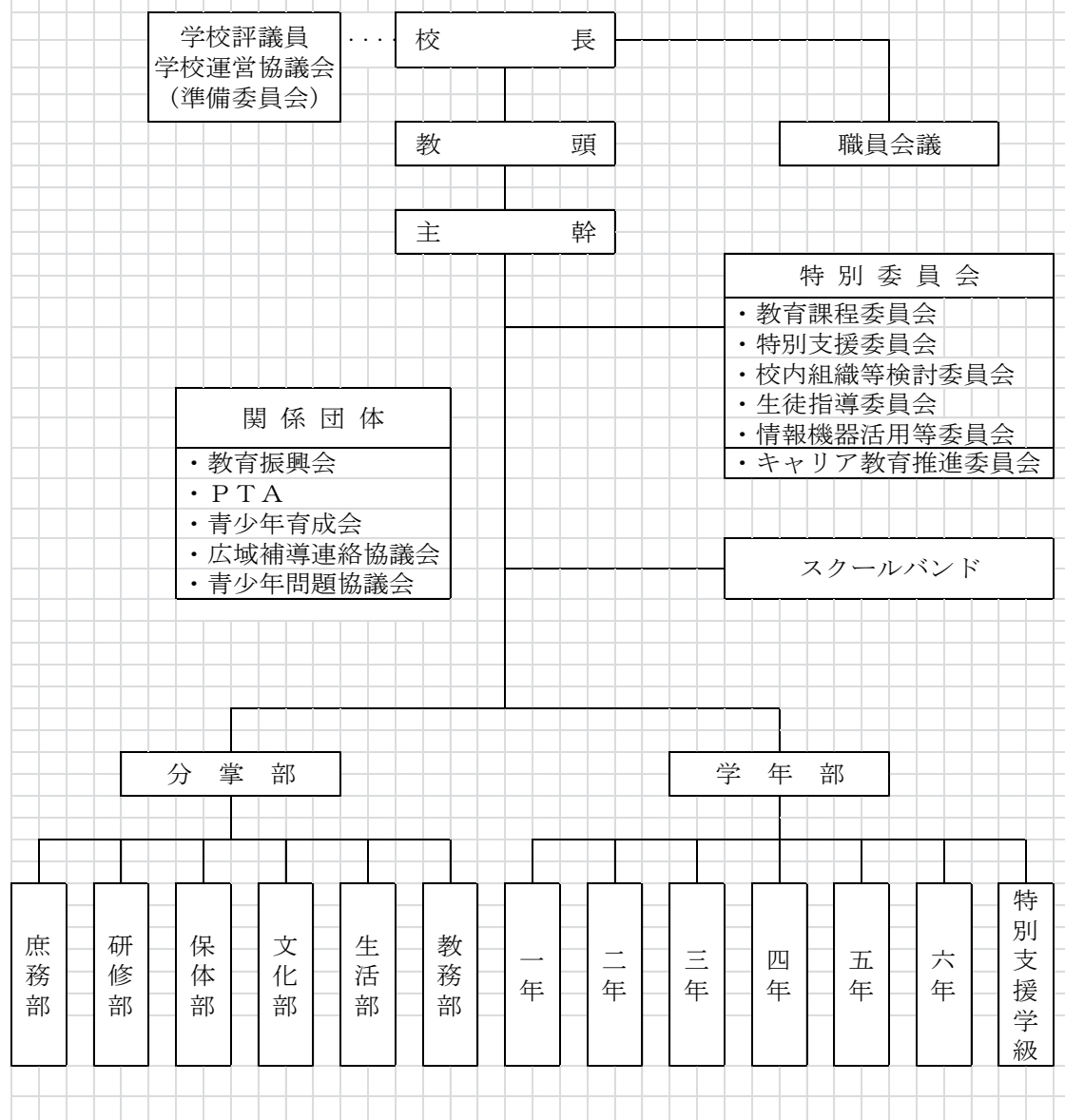
(文章による説明等)

- ・主幹教諭、教務部教育課程係、進路・視聴覚係が中心となり、推進する。

(3) 組織図 小学校

栗山町立栗山小学校

校務組織図

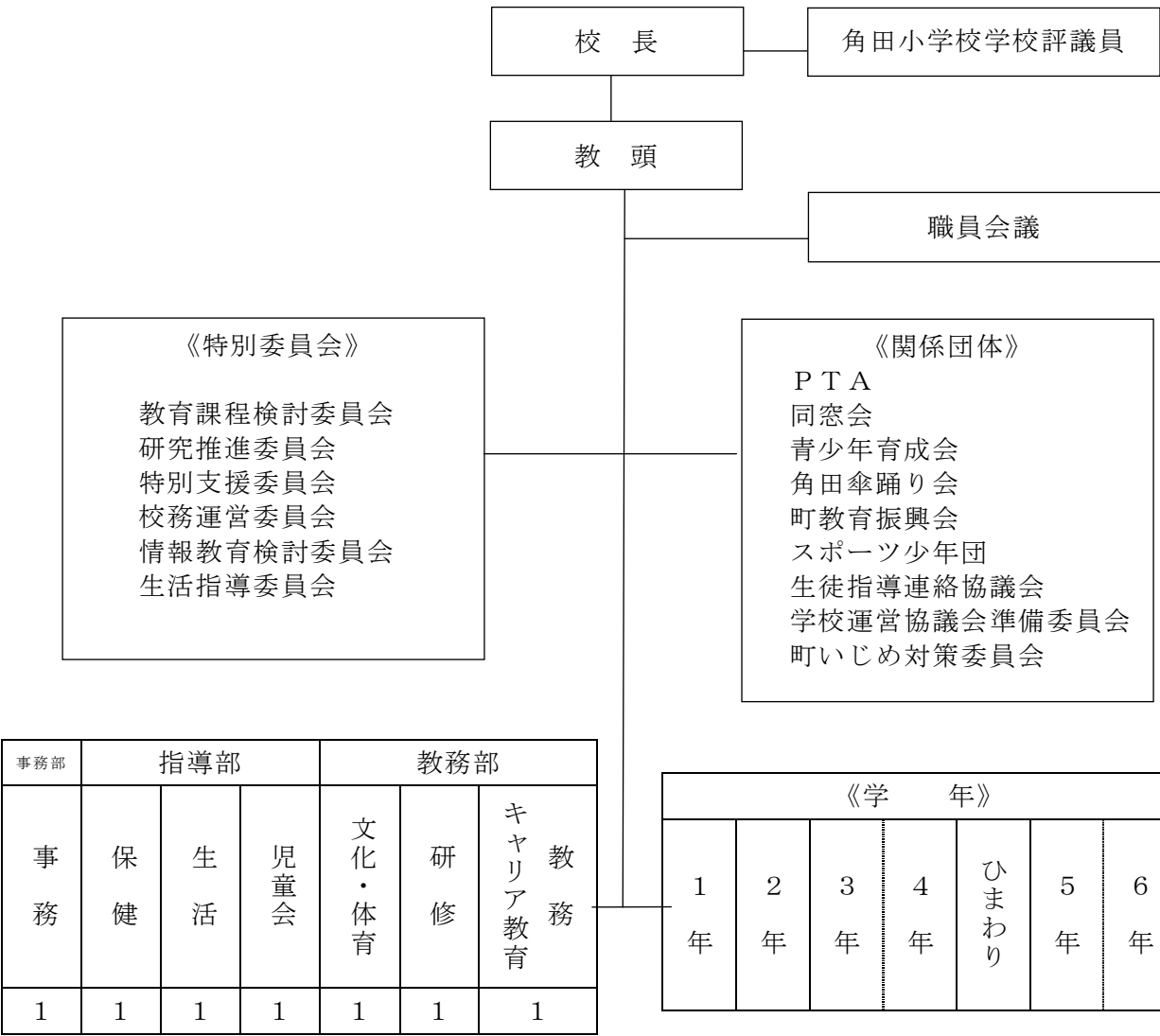


(文章による説明等)

- ・特別委員会に「キャリア教育推進委員会（教頭・主幹教諭・教務主任・児童会担当・コミュニティスクール担当の5名）」を位置付けて推進する。
- ・委員長は教頭とする。

(3) 組織図 小学校

栗山町立角田小学校



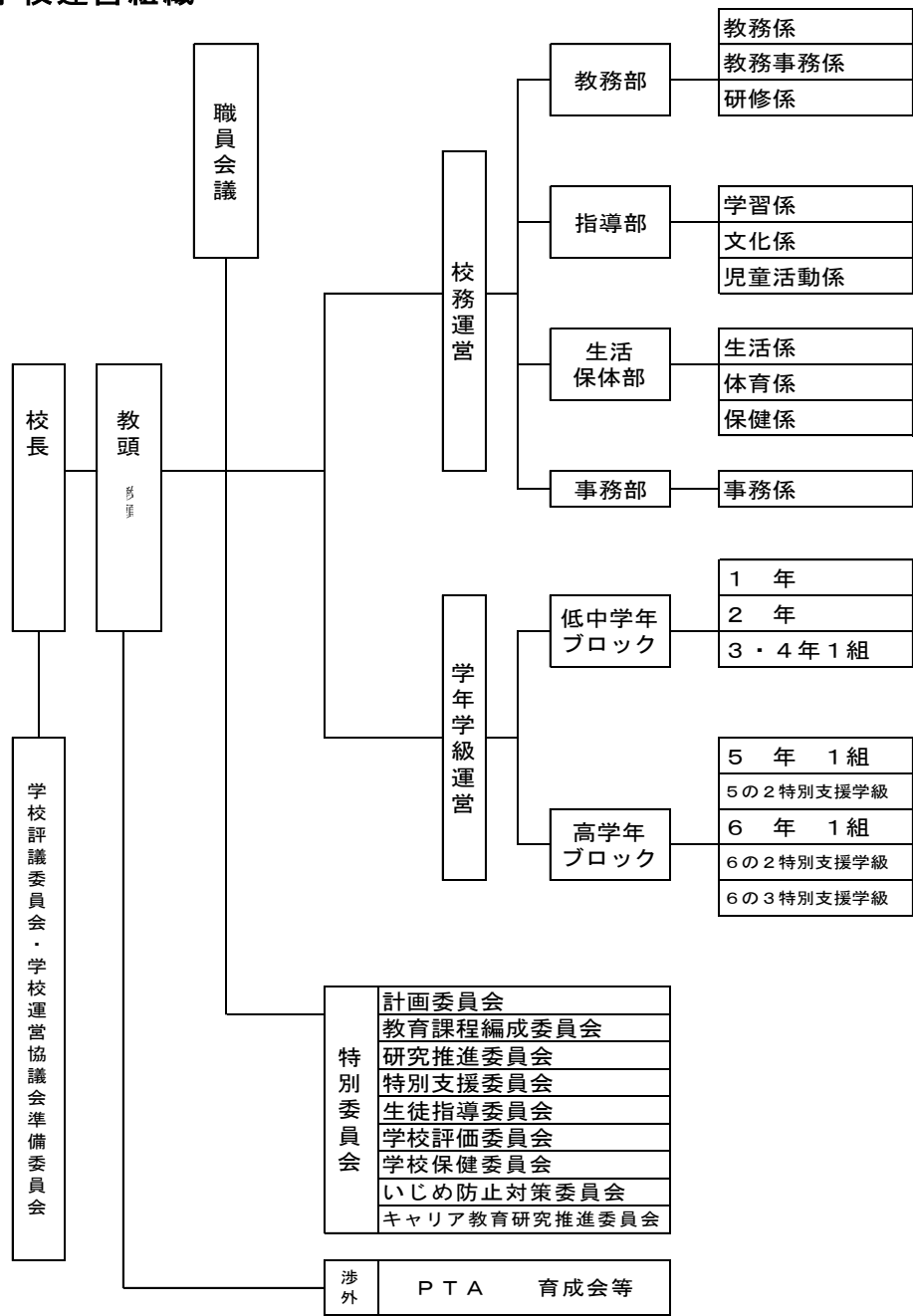
(文章による説明等)

- ・教務部の業務にキャリア教育を位置付けて推進する。

(3) 組織図 小学校

栗山町立継立小学校

学校運営組織



(文章による説明等)

- ・ 特別委員会に「キャリア教育研究推進委員会」を位置付ける。構成員は校長、教頭、教務主任とする。
- ・ 研究推進担当は教務部教務係とする。